

第8期事業年度

(平成23年度)

決 算 報 告 書

自：平成23年 4月 1日

至：平成24年 3月31日

国立大学法人熊本大学

(様式2-1)

平成23年度 決算報告書

国立大学法人熊本大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,081	14,938	△ 1,142	(注1)
施設整備費補助金	940	778	△ 161	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	191	1,570	1,379	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	—	
自己収入	28,311	28,805	494	
授業料、入学料及び検定料収入	6,432	6,286	△ 145	(注4)
附属病院収入	21,201	21,606	405	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	678	912	234	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,832	3,682	850	(注7)
引当金取崩	—	8	8	(注8)
長期借入金収入	424	109	△ 314	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	226	226	(注10)
計	48,835	50,176	1,341	
支出				
業務費	41,072	39,456	△ 1,615	
教育研究経費	23,192	22,252	△ 939	(注11)
診療経費	17,880	17,204	△ 675	(注12)
施設整備費	1,420	944	△ 475	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	191	1,570	1,379	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,832	3,686	854	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	3,320	3,377	57	(注16)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	48,835	49,035	200	
収入-支出	—	1,140	1,140	

○予算と決算の差異について

- (注1) 業務達成事業等による繰越のため、予算額に比して決算額が1,142百万円少額となっている。
- (注2) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が161百万円少額となっている。
- (注3) 各種補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,379百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数等の減に伴い、予算額に比して決算額が145百万円少額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、増収努力に努めたこと等により、予算額に比して405百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、自己収入の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が234百万円多額となっている。
- (注7) 外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が850百万円多額となっている。
- (注8) 自己都合による退職により、予算額に比して決算額が8百万円多額となっている。
- (注9) 文部科学省と協議後、事業計画を変更したため、予算額に比して決算額が314百万円少額となっている。
- (注10) 事業計画の変更により、予算額に比して決算額が226百万円多額となっている。
- (注11) 経費節減による減少並びに、人件費及び退職手当が当初見込額より減少したことにより、予算額に比して決算額が939百万円少額となっている。
- (注12) 経費節減による減少及び業務達成基準による繰越等により、予算額に比して決算額が675百万円少額となっている。
- (注13) (注2・注9)に示した理由等により、予算額に比して決算額が475百万円少額となっている。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,379百万円多額となっている。
- (注15) (注7)に示した理由等により、受入額が増加したため、予算額に比して決算額が854百万円多額となっている。
- (注16) 借入時期の変更等により、予算額に比して決算額が57百万円多額となっている。